

ときがわ町立玉川小学校

- ・児童数； 172名
- ・学級数； 9学級
- ・職員数； 26名

(令和4年5月1日現在)

令和4年度 玉川小学校グランドデザイン



学校を取り巻く環境

- 国・県の方針
- 少子化・高齢化
- 教育改革の動向
- 全国・県学習状況調査、NRT・CRTなど町補助の調査
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

ときがわ町教育行政 重点施策

「たくましく
生きる力を育てる
ときがわ教育」

学校経営方針

目指す学校像

児童一人一人のよさを認め、育み、伸ばすとともに、
保護者・地域の信頼にこたえる学校

学校教育目標

○進んで学ぶ子（知） ○助け合う子（徳） ○元気な子（体）

児童の願い

- 楽しく勉強や運動がしたい
- 友だちとなかよくしたい
- 勉強がわかるようになりたい

保護者の願い

- 健康で思いやりのある子に育てほしい
- 基礎学力を身に付けてほしい

地域の願い

- 地域に誇りを持てる人
- 地域の将来を担う人

〈目指す学校像〉

- 児童
 - ・ 学ぶ意欲を育む学校
 - ・ すべての子供の「よさ」を認める学校
 - ・ 挨拶の通い合う学校
 - ・ 安全・安心に生活できる学校
 - ・ 歌声の響く学校
- 保護者・地域
 - ・ 地域に根ざした教育の実践と地域社会への奉仕
 - ・ 家庭と学校の役割分担と協力
 - ・ 子供たちの安心・安全の確保

〈目指す児童像〉

- 自ら学ぶ意欲を持って、一步一步努力する子
- 自分の存在に自信を持てる子
- 心のこもった挨拶・返事、言葉遣いが正しくできる子
- 目標に向かって、真面目に、そして誠実に取り組む子
- 元気で、健康な身体作りに取り組む子

〈目指す教師像〉

- 児童に寄り添い、共に歩む教師
(よさを引き出し、自信を持たせる)
- 使命感と情熱を持った教師
(厳しさと優しさを持って児童に接する)
- 学び続ける教師
(良い授業を通して、児童にわかる楽しさ、できる喜びを味わわせるために研究と修養に励む)

「助け合う子」 素直な心の育成

- あいさつ運動
 - ・ あいさつ運動、教職員の立哨指導
- 言語環境の整備
- 縦割り活動（わらべえ活動）の充実
- 道徳の授業の充実（時数、内容、実践化）
- 道徳心の向上
 - ・ 福祉教育の推進・地域行事への参加・ボランティア活動の奨励
- 感性を育む
 - ・ 歌声の響く学校
 - ・ 光る汗、光る廊下（整理・整頓、清掃活動の充実）
 - ・ 花いっぱいによる季節感覚の浸透
 - ・ 児童作品の積極的な展示（都幾川公民館・アスパアたまがわ・生き生き活動センター）

「進んで学ぶ子」 自ら学ぶ意欲の向上（興味・関心）

- 基礎的・基本的な知識及び技能の定着
 - ・ 読むこと、書くこと、計算指導の徹底と少人数指導の充実
- 思考力・判断力・表現力の育成
 - ・ 自分の言葉で表現すること
 - ・ 振り返りの実施
- 学力向上
 - ・ 「玉小スタイル」（国語・算数）を核にした学び方の基礎の徹底習得（学び合いの学習）
 - ・ NRT・CRT学力テスト、全国学力・学習状況調査、県学力学習状況調査での学習定着度の検証と苦手分野・領域の克服
 - ・ 算数検定の実施・漢字検定（4年生）の実施・日本語検定の実施（4・5・6年生）
 - ・ 読書活動の推進・暗唱指導の充実・これできプリント
- 2年「川の楽校」や4年「都幾川の自然を守る」等、学校の特色を生かした実践の推進
- 自主学習の推進（玉ちゃんノートの活用）

「元気な子」 自分を励まし、大切にする

- 健康・体力の維持、推進、向上
 - ・ 基本的生活習慣の確立（早寝・早起き・朝ご飯）
 - ・ 新体力テストの学校平均の向上（県平均以上の種目を80%以上）
 - ・ 外遊びの奨励
 - ・ 保護者の協力のもと食育指導の充実
- 自主性の尊重
 - ・ 委員会・クラブ活動の活性化
 - ・ 児童ができるものは、児童に任せ、見守る（待つ）
 - ・ 体を動かしたくなるような言葉がけ

※ 太字は、特に今年度力を入れることを示す。